

■山極勝三郎 病理学者。世界で初めて人工癌を発生させるも、(後に誤りと判明する)デンマークの学者にノーベル賞。

やまぎわかつさぶろう

8月18日政変 1863 = 信濃国上田で、下級藩士山本政策の三男に生まれる。母友子も同藩下級武士の娘。兄が2人いた。

明治維新・ 1868 = 5歳 :

廃藩置県・ 1871 = 8歳 : 廃藩で録が断たれて家が窮乏するなか、

学問のすすめ1872 = 9歳 :

明治6年政変 1873 = 10歳 :

松平小学校在学中、文部省刊行の内田正雄「輿地誌略」に影響されて、大志を抱くようになり、

上田に開校した中学校に入学、_成績優秀だったことから、

琉球処分・ 1879 = 16歳 : 請われて旧上田藩御典医山極吉哉の養子となり、上京して私立のドイツ学校から、

大久保暗殺・ 1878 = 17歳 : _外国語学校を経て、東京大学医学部予科に入学、

明治14年政変1881 = 18歳 :

岩倉具視没・ 1883 = 20歳 : 実父が死去、

秩父事件・ 1884 = 21歳 : _山極家の長女包子と結婚後、本科に進む。

妻の父母弟妹と同居の上、

国民之友始・ 1887 = 24歳 : 長男が誕生するも、彼らの百日咳に感染し夭折。家計ますます不如意で高利の借金、

初の対等条約1888 = 25歳 : この頃自己流で句作始める。_抜群の成績で卒業、助手として病理学教室に入り、

帝国憲法発布1889 = 26歳 : 上田関係者{上田郷友会}が発足、その月報創刊号の緒言を執筆、以後論説寄稿。_脚気についての初論文。

帝国議会始・ 1890 = 27歳 : 長女が誕生。この年、ドイツでコッホが'結核治癒するツベルクリンを発見'と語って騒動となり、

足尾鉾毒始・ 1891 = 28歳 : その実態研究のため帝国議会から医学士派遣建議がなされて選ばれ、_東大助教授に就任後、

大本教・ 1892 = 29歳 : _ドイツに留学、ベルリンでウィルヒョーに師事。

この間、養父吉哉が家計窮乏で東大教授らから勝手に借金しまくり、その返済にも追われて行く。

日清戦争始・ 1894 = 31歳 : 帰国し、

日清戦争終・ 1895 = 32歳 : 二男が誕生。*東大教授となり、癌についての初論文も発表。

白馬会・ 1896 = 33歳 : _ウィルヒョーに倣って"示説"を開始、日本病理学の基礎を築いて行く。

八幡製鉄始・ 1897 = 34歳 : 台湾のペスト流行に際し出張調査し、ノミ媒介説を確定して帰国し、報告。

子規句歌革新1898 = 35歳 : 自宅が焼失し長女が焼死する不幸のなか、

Bushidou・ 1899 = 36歳 : 三男が誕生。結核になり転地療養を経て闘病生活始まる。_その成果を「ペスト論」にまとめて出版。

以後、俗事を絶って学問に没頭して行くとともに句作も本格化。度々咯血して勤めを休む。

_脚気や日本の地方病の病理学的研究のほか、とくに癌の研究に力を注ぎ、

教科書疑獄・ 1902 = 39歳 : 次女が誕生。

日露戦争終・ 1905 = 42歳 : 三女が誕生。長兄が死去。*胃癌についての日本初の本「胃癌発生論」出版し、

満鉄発足・ 1906 = 43歳 : 引き取っていた実母友子が死去。この年、第1回国際癌腫研究会が開催される。

韓国反日暴動1907 = 44歳 : 雑誌{癌}を創刊、師ウィルヒョーの癌の刺激発生説を証明すべく、動物実験を開始、

アララビ 創刊・ 1908 = 45歳 : 末子四男が誕生。_自分の教室で癌研究会を始めるなど、研究を本格化。

韓国併合・ 1910 = 47歳 : 大阪に出張中、重態となり一時入院。

明治天皇没・ 1912 = 49歳 : 浅野家養子となり2度上田町長務めた次兄も死去、遺児3人引き取って、窮乏続く。

大正政変・ 1913 = 50歳 : この年、デンマークのフィビガーが人工胃がん成功を発表(後年誤りと分かる)。この年東北帝大を卒業して山極の研究室に預けられてきた市川厚一を指導して、ウサギの耳にコールタールの反復塗布による人工的発癌実験を始め、その熱心な取り組みによって、

第一次大戦始1914 = 51歳 :

21ヶ条要求・ 1915 = 52歳 : *人工タール癌の発生を初めて確認し、市川と「人工的癌腫の発生」を発表、画期的業績となる。

民本主義・ 1916 = 53歳 : 免疫を手掛かりに、癌の実験的治療の研究を開始。

ロシア革命・ 1917 = 54歳 : 教授在職25年の祝賀会で多額の寄付が集まり、初めて自分の家を持つ。_{米国医学会雑誌}に紹介される。

本格政党内閣1918 = 55歳 : 米国癌研究会名誉会員となる。_医学部2年先輩の筒井秀二郎による追試でも証明される。

ペルシヤ条約・ 1919 = 56歳 : 病臥で式には欠席するが、_市川とともに、帝国学士院賞。

原敬首相暗殺1921 = 58歳 : ウィルヒョー生誕百年記念に提案し、記念賞が制定される。

関東大震災・ 1923 = 60歳 : 震災後、定年退職。それまでの句作をまとめて、私家版「曲川句集(巻一)」を刊行。

以後、妻の趣味だった朝顔栽培に親しみ、その交配に熱中、

治安維持法・ 1925 = 62歳 : 日本人学者らによって初めてノーベル医学生理学賞候補に推薦された際には無視されたが、

円本時代始・ 1926 = 63歳 : ドイツの病理学者アショフの推薦で _ノーベル医学生理学賞候補に最後まで残るも、

金融恐慌・ 1927 = 64歳 : 再選考となって除外され、フィビガーが受賞。

共産党事件・ 1928 = 65歳 : 「癌抗体発生実験の回顧」。

世界恐慌・ 1929 = 66歳 : 最後の肉親だった妹末が死去。震災後分の「曲川句集(巻二・朝顔の巻)」を刊行。*第3回ノルドホフ・ユング(ソフィー)賞を受け、「癌の予防に就て」の一文を遺して、

海軍軍縮条約1930 = 67歳 : 長兄の養子も死去して生家断絶。風邪をこじらせて肺炎となり、心臓麻痺で_没した。